

藤塚小だより

学校教育目標：生きる力にあふれる子

～「自分らしさを発揮する力」の育成を目指して～

令和4年 4月 25日
横浜市立藤塚小学校
学校だより 5月号
TEL (351) 2314
FAX (351) 7349

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fujizuka/>

交流の芽吹き

校長 藤田 陽子

令和4年度の学校生活が始まり、間もなく1か月が過ぎようとしています。藤塚小学校に小さな交流の芽がゆっくりと、しかし確実に育ってきています。



今年度は過去2年間実施を見送った集団登校を行いました。PTA 校外委員の皆様や本部役員の皆様が計画や準備を進めてくださり、実行することができました。集団登校期間は、5・6年生の登校班班長児童や副班長児童を中心にそれぞれの学年児童が1年生の歩くペースに合わせて登校しました。上級生に守られるようにして歩く1年生の表情を見ると、慣れない通学路に緊張しつつも、上級生と一緒にいる安心感が伝わってきました。そんな集団登校期間の雨の日、濡れた傘をどう閉じればよいか分からず多くの1年生が途方にくれる中、登校班の上級生が手をびしょびしょに濡らしながら1年生に傘の畳み方を丁寧に教えていきました。登校班としての任務を無事に終了し学校に到着した後も、教室に入るまで1年生を見守るあたたかい上級生の姿が見られました。



1年生が教室に入ると、次に出会うのは同じ教室の友だちと担任教諭、そして1年生のサポートを行う6年生です。学習の準備をすることや教室で静かに過ごすことなどを6年生の助言や行動から1年生は具体的に学んでいきます。朝の時間だけでなく、掃除の仕方や、ときに友だち同士のかかわり方についても6年生の姿を通して学んでいきます。1年生は、6年生との交流を通じ、「藤塚小学校には、自分を応援してくれる友だちがいる」ことを実感し、6年生と仲良くなる楽しさを味わいます。教室や廊下で、1年生と6年生が楽しそうにあいさつをしたり、6年生に会うことを楽しみにじっと待ち受けたりしている様子が見られます。この楽しさや安心感がやがて1年生同士、そして他学年とのよりよいかかわりを広げる力となります。

これからも感染症の対応は続きます。このような状況ではありますが、感染症対策を講じながら、今年度はできる限り交流活動に取り組んでいきたいと考えます。感染症が広がり交流活動が制限された期間の経験を通じ、私たち教職員は教育活動の中での交流活動について、その大切さを実感してきました。その実感を、今年度の交流の工夫や継続、そして積み重ねにつなげていきたいと思えます。